



## 岩石城跡を歩いてみよう!

今からおよそ400年前まで、岩石山の山頂には「豊前一の堅城」と称された山城「岩石城」がありました。今でも奥の院から山頂にかけ、山城特有の名残を多くとめています。岩石山に登るとそれら遺構をすぐに見つけることができます。城を守った武将たちを想像しながら歩くと、またひと味違った山登りが楽しめます。



**天守台跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**本丸跡**  
天守台より南8mほど下にあるし字型の平地。前に突き出した平地の間に城の入り口となる虎口(こぐち)の跡があれています。ここで多くの瓦片が出土されました。



**瓦片**  
山頂付近を歩いているとそこかしこに見つかる瓦の破片。小倉藩の最初の藩主だった細川忠興が治めていたころの石碑に使われていた瓦だと考えられています。



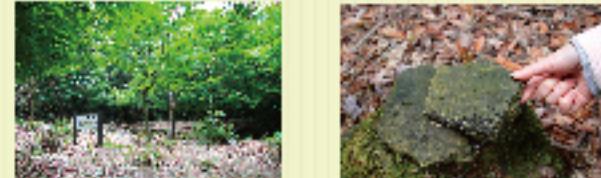
**柱穴(ちゅうあな)**  
山頂付近を歩いているとそこかしこに見つかる瓦の破片。小倉藩の最初の藩主だった細川忠興が治めていたころの石碑に使われていた瓦だと考えられています。



**鳥の院**  
標高400mにある鳥の院の展望台からは源田の村がよく見渡せます。奥の谷から入ると源田の村が広がりますが、秀吉の天守台を見た向いの緑丘の方へと進むと…。



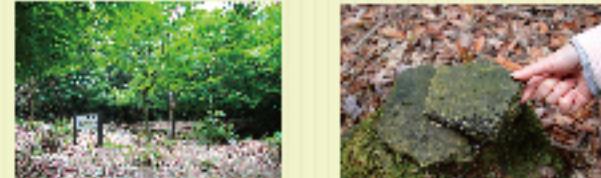
**堀切り**  
左右斜面V字に削られた谷で、ここは敵の侵入道となる山の機関を断ち切る防衛施設として人為的に造られた堀です。何も知らないと普通の谷間にしか見えませんね。



**塊岩(くざいけ)**  
四角いVの例は、岩を削るための様子で打つために開けられたものです。岩石城跡で見られる塊岩は、國宝未だから江戸初期の築城に見られる右切跡とされています。



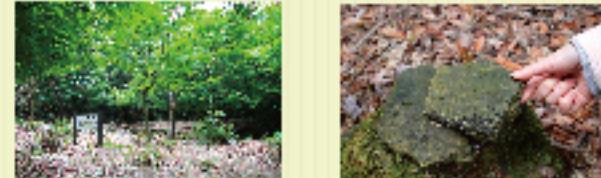
**古井戸**  
山頂から高低差50m以内に数箇所の水溜が見渡せています。井戸は今は水を溜むことができ、山頂に近い場所で井戸が枯れないことは良い傾向とされています。



**馬場跡**  
東側に伸びた広い平地は「馬場」と言い伝えられる場所。五片が多く見つかることから、ここにも大きな建物があったと考えられています。秀吉の岩石城跡では、牛馬三百頭が越から放されたという逸話があります。



**古見岩**  
山頂から見渡せる岩見岩。岩には梵字が刻まれ、山伏たちの修行の場だったことがわかります。



**天守跡**  
天守跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



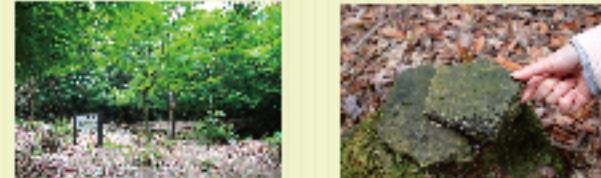
**正門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**北門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**南門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**西門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**東門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**馬場跡**  
東側に伸びた広い平地は「馬場」と言い伝えられる場所。五片が多く見つかることから、ここにも大きな建物があったと考えられています。秀吉の岩石城跡では、牛馬三百頭が越から放されたという逸話があります。



**古見岩**  
山頂から見渡せる岩見岩。岩には梵字が刻まれ、山伏たちの修行の場だったことがわかります。



**天守跡**  
天守跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**正門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



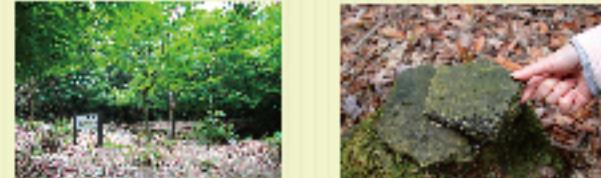
**北門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**南門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**西門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**東門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**馬場跡**  
東側に伸びた広い平地は「馬場」と言い伝えられる場所。五片が多く見つかることから、ここにも大きな建物があったと考えられています。秀吉の岩石城跡では、牛馬三百頭が越から放されたという逸話があります。



**古見岩**  
山頂から見渡せる岩見岩。岩には梵字が刻まれ、山伏たちの修行の場だったことがわかります。



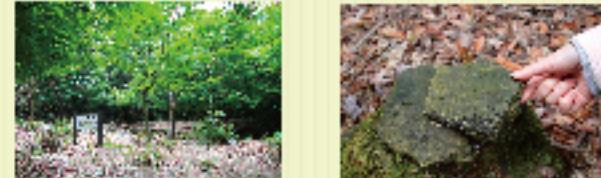
**天守跡**  
天守跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**正門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**北門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



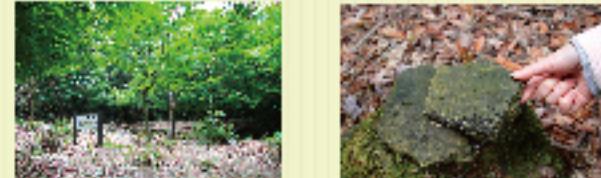
**南門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**西門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**東門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



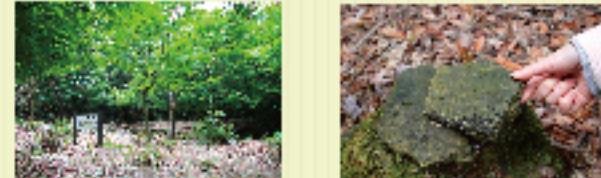
**馬場跡**  
東側に伸びた広い平地は「馬場」と言い伝えられる場所。五片が多く見つかることから、ここにも大きな建物があったと考えられています。秀吉の岩石城跡では、牛馬三百頭が越から放されたという逸話があります。



**古見岩**  
山頂から見渡せる岩見岩。岩には梵字が刻まれ、山伏たちの修行の場だったことがわかります。



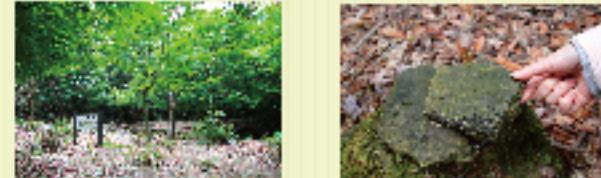
**天守跡**  
天守跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**正門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**北門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**南門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



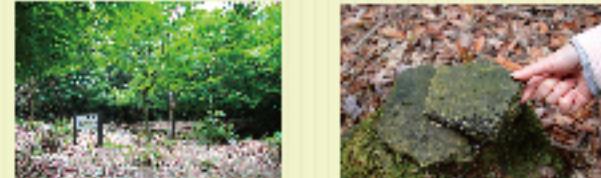
**西門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



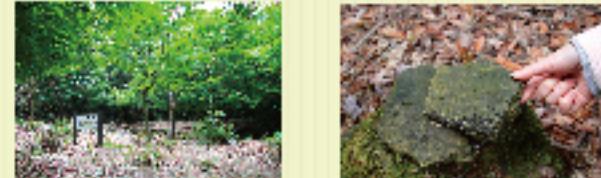
**東門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



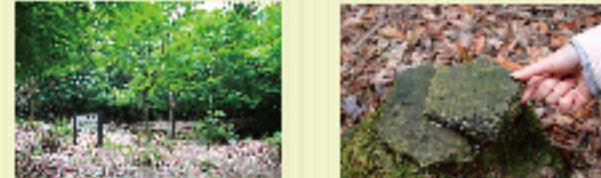
**馬場跡**  
東側に伸びた広い平地は「馬場」と言い伝えられる場所。五片が多く見つかることから、ここにも大きな建物があったと考えられています。秀吉の岩石城跡では、牛馬三百頭が越から放されたという逸話があります。



**古見岩**  
山頂から見渡せる岩見岩。岩には梵字が刻まれ、山伏たちの修行の場だったことがわかります。



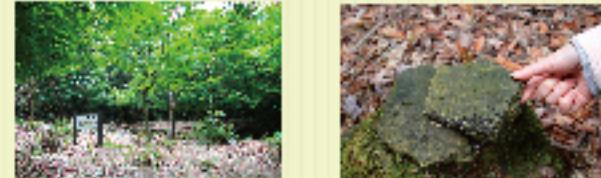
**天守跡**  
天守跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**正門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



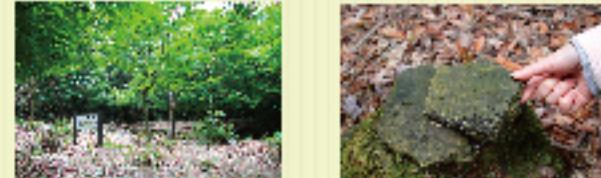
**北門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



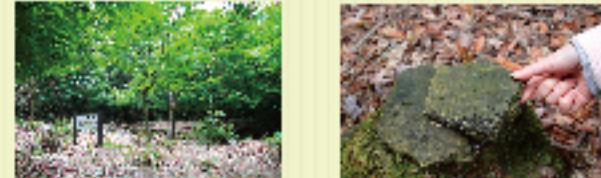
**南門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**西門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**東門跡**  
天守台跡に建てられた堅城台から、気里八野はもちろん、行橋方面や宝満山の山々まで遠望でき見えます。ここでは瓦も見えていたので、見張りのための天守があったのではないかと想われます。



**馬場跡**  
東側に伸びた広い平地は「馬場」と言い伝えられる場所。五片が多く見つかることから、ここにも大きな建物があったと考えられています。秀吉の岩石城跡では、牛馬三百頭が越から放されたという逸話があります。

